

授業基本情報

講義番号	912069
授業科目	革新的起業と先端技術－世界を変えるイノベーション
担当教員（所属）	山下 哲也（91：教養教育）
学期	2019年度 Q：1学期
曜日・時限	火曜7，火曜8
単位数	1
教室	一般教育棟D 1 3 教室
ナンバリングコード	KCZZ0LAFZ0003N
印刷用ページ	https://gs.okayama-u.ac.jp/campusweb/campussquare.do?_flowId=SYW4101101-flow&nendo=2019&shozoku=91&jikanwari=2069&sylocale=ja_JP 2019年度入学者：教養教育科目/実践知・感性（実践知） 2018年度入学者：教養教育科目/実践知・感性（実践知） 2017年度入学者：教養教育科目/実践知・感性（実践知）
科目区分	2018年度以前入学者は、講義番号が異なる場合がありますので、以下のHPをご確認ください。 （http://www.okayama-u.ac.jp/tp/student/timetableindex.html） 2019年度入学者：全 2018年度入学者：全 2017年度入学者：全
対象学生	2018年度以前入学者は、講義番号が異なる場合がありますので、以下のHPをご確認ください。 （http://www.okayama-u.ac.jp/tp/student/timetableindex.html）
必修・選択の別	選択必修
他学部学生の履修の可否	対象学生の項目を参照
連絡先	tetsuya_yamashita@yamashita-project.com
オフィスアワー	火曜日 13:00-14:00 他の時間を希望する場合は事前にメールにてご相談ください
学部・研究科独自の項目	関連しない
使用言語	日本語
授業の概要	インターネットや5Gへと進化するモバイル、機械学習等のAI技術、遺伝子工学に代表されるバイオテクノロジー等、現代の様々な先端技術がどのようにしてイノベーションを生み出し成長してゆくか、その構造と特徴をアントレプレナーの視点から学びます。
学習目的	様々な分野で加速する技術革新の現状を学び、イノベーションの核となる主要技術の特徴と開発動向、相互の関係性と将来の方向性を学ぶことを目的とします。
到達目標	・現代のイノベーションの基本的な構造・潮流を理解できる ・各分野における主要技術の動向・方向性を理解できる ・技術からイノベーションが生まれるプロセスを理解できる 第1週：オリエンテーション - 本科目のプログラム構成・学習方法の解説 第2週：コアとなるIT - モバイル/5G・IoT・ソフトウェア・デバイス 第3週：AI技術 - 機械学習・深層学習 第4週：自動運転・ロボティクス 第5週：遺伝子工学・バイオ・メディカル 第6週：FinTech・仮想通貨 第7週：政府・公共機関におけるイノベーション 第8週：まとめとふりかえり - さらなる学習方法の紹介
授業計画	
授業時間外の学習(予習・復習)方法 (成績評価への反映についても含む)	リーディング、ネット上での動画教材の視聴、受講生同士のディスカッション

(1)授業形態-全授業時間に対する[講義形式]:[講義形式以外]の実施割合	50% : 50%
(2)授業全体中のアクティブ・ラーニング-協働的活動(ペア・グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションなど)	多い
(2)授業全体中のアクティブ・ラーニング-対話的活動(教員からの問いかけ、質疑応答など)	多い
(2)授業全体中のアクティブ・ラーニング-思考活動(クリティカル・シンキングの実行、問いを立てるなど)	多い
(2)授業全体中のアクティブ・ラーニング-理解の確認・促進(問題演習、小テスト、小レポート、授業の振り返りなど)	多い
(3)授業形態-実践型科目タイプ	該当しない
(4)授業形態-履修者への連絡事項	特別な配慮を必要とする場合は、事前にご相談ください。
使用メディア・機器・人的支援の活用-視聴覚メディア(PowerPointのスライド、CD、DVDなど)	多い
使用メディア・機器・人的支援の活用-学習管理システム(Moodleなど)	多い
使用メディア・機器・人的支援の活用-人的支援(ゲストスピーカー、TA、ボランティアなど)	多い
使用メディア・機器・人的支援の活用-履修者への連絡事項	本講義では、インターネット上のコンテンツ視聴及びレポート(プレゼン)作成が必須となります。
教科書	指定教科書はありません。 (各回毎に対象教材を指定します)
参考書等	
成績評価	リフレクションペーパー : 50% レポート : 50%
担当教員の研究活動との関連	担当教員は、米国VC等による創業期スタートアップを対象とするアクセラレーター(事業成長促進プログラム)の開発・運営の他、国内外投資家によるイノベーション支援に従事し、国内外の起業家(アントレプレナー)との協業・支援を通じて、アントレプレナーシップの研究・啓発を行なっています。
受講要件	これからの社会変化、イノベーションや起業、スタートアップに関心があること
教職課程該当科目	この項目は当該科目に該当しない。
JABEEとの関連	
主なSDGs関連項目1	4 質の高い教育をみんなに
主なSDGs関連項目2	17 パートナリーシップで目標を達成しよう
主なSDGs関連項目3	該当なし
実務経験のある教員による授業科目	有 本講義は、岡山大学と株式会社ストライプ・インターナショナルが創設した起業家精神Entrepreneurshipと改革者精神Intrapreneurshipを学ぶSiEED (STRIPE Intra & Entrepreneurship Empowerment and Development) プログラムの基礎講義です。 予測不可能な不確実性に満ち激しく変化する現代において、変化を恐れず、自ら未知の課題を探究し、より良い社会を目指して変革に挑むためのマインドセットを、革新を生み出す起業家Entrepreneurと、既存の組織や構造を改革するIntrapreneurの両者から学ぶことを目的としています。
備考/履修上の注意/実務経験の内容	2学期に開講される「アントレプレナーの戦略的思考」と「アントレプレナーの事業開発方法」を受講する場合、1学期に開講される「アントレプレナー入門」と「革新的起業と先端技術」のいずれかを履修することを推奨します。 本講座の講義内容は、効果的な学習方法への改善を目指し、随時変更・調整されるため、当初授業計画から内容等が変更される場合があります。

【 教 養 】 人間性・倫理観	
【 教 養 】 創造力・想像力	10%
【 教 養 】 論理的思考・判断力	
【 教 養 】 幅広い分野に対する関心	20%
【 教 養 】 幅広い分野に関する基礎力	20%
【 専門性 】 特定分野に関する基礎力	
【 情報力 】 情報収集力	10%
【 情報力 】 情報活用力	10%
【 情報力 】 情報発信力	
【 行動力 】 課題を発見・解決する力	10%
【 行動力 】 コミュニケーション能力	10%
【 行動力 】 言語理解力	
【 行動力 】 言語運用力	
【自己実現力】 セルフマネジメント力	
【自己実現力】 日常的な自己研鑽力	
【自己実現力】 未来を設計する力	10%
関連割合の合計	100%